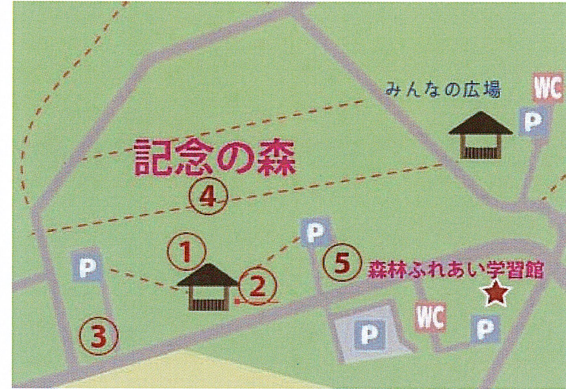


県民の森 園内紹介 ③ 記念の森 1 (あずまや周辺)

昭和 49 年、昭和天皇・皇后両陛下のご臨席を仰ぎ、記念の森を会場として、第 25 回全国植樹祭が盛大に開催されました。現在休憩舎となっているあずま屋が両陛下の御席だった場所、その南側にお手植えの南部アカマツ、オオヤマザクラがあります。記念の石碑には「岩手なる あがたの民の憩場の 森となれかし けふ植えし苗」と、当時の天皇陛下の御歌が記されています。昭和 59 年の全国育樹祭では、当時皇太子皇太子妃だった現上皇・上皇后両陛下が 10 年前の全国植樹祭お手植えの木々の健やかな成長を祈りながら、整枝と施肥をなさいました。記念の森は、県民の森の原点とも言える特別な場所として、多くの人々から愛されてきました。



記念の森には県民の森を代表する並木が複数あり、あずま屋の南側の散策路には夏の風物詩のアジサイの並木が続き、駐車場脇にはトチノキやナナカマドが初夏に美しい花を咲かせています。また整然と植樹された南部アカマツは壮観です。駐車場からあずま屋まではオオヤマザクラの並木で、春には花見をしながら寛ぐことができます。

令和 5 年、「高田松原津波復興祈念公園」を会場として、岩手県で 2 回目となる全国植樹祭が開催されます。記念の森で全国植樹祭が開催されてから約 50 年。当時植樹された木々は、森林整備を継続して行い、大きく成長しました。そして今、県民の森は岩手を代表する森林公園となり、多くの人々の憩いの場として利用され続けています。



①昭和天皇皇后陛下お手植えの南部アカマツ



②記念の森のあずまや (春)



②記念の森のあずまや (夏)



③トチノキ



④アジサイ並木



⑤ナナカマド